

浸水深マップ

- 朝日池・朝日西池 -

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池の全ての貯水量が流出する状況を想定しています。(浸水の深さを色で示しています。)表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

避難所		
施設名	連絡先	住所
隼人農村環境改善センター	42-1911	隼人町内山田 1-14-10
宮内地区公民館	42-1998	隼人町神宮 3-4-18
宮内小学校	42-0024	隼人町神宮 3-4-1



浸水の深さ

- 3m以上: 2階以上が浸水
- 1m ~ 3m: 1階以上が浸水
- 0.5m ~ 1m: 大人の腰まで
- 0.5m以下: 床下浸水

凡例

- 避難所 (避難所アイコン)
- 公民館 (公民館アイコン)
- 消防署・分遣所 (消防署アイコン)
- 避難方向 (矢印アイコン)
- 洪水到達予想時間 (赤い点線アイコン)

土砂災害の危険箇所

台風や大雨、地震等が引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害も発生する恐れがあります。土砂災害の被害が想定されている範囲については、「霧島市総合防災マップ」を参照してください。

わが家の防災メモ 【家族全員で日頃から確認をしてみましょう。】					非常持出 チェックリスト
わが家の 避難場所	家族の 集合場所				
家族の名前	生年月日	血液型	持病・アレルギー・薬など	携帯番号/会社・学校の連絡先	<input type="checkbox"/> 水
					<input type="checkbox"/> 食料品
					<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
					<input type="checkbox"/> 懐中電灯
					<input type="checkbox"/> 医療品
					<input type="checkbox"/> 現金・貴重品
					<input type="checkbox"/> 衣類
					<input type="checkbox"/> ろうそく

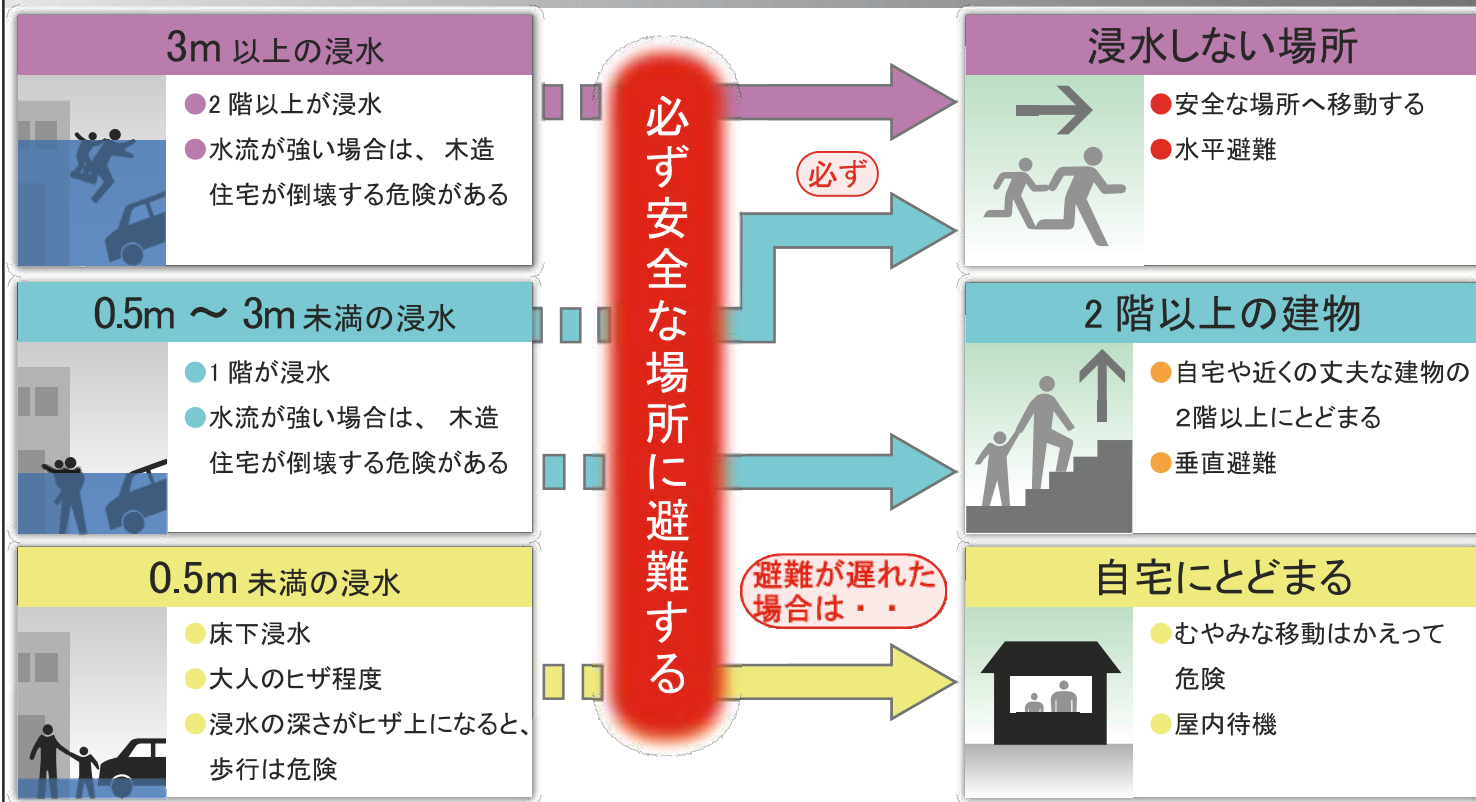


名称	朝日池	朝日西池
総貯水量	14,300m ³	5,900m ³
天端幅	3.30m	3.00m
堤体高	6.10m	4.90m
堤頂長	83.00m	30.00m
型式	アース型	アース型

1 : 7,000
0 175 350m

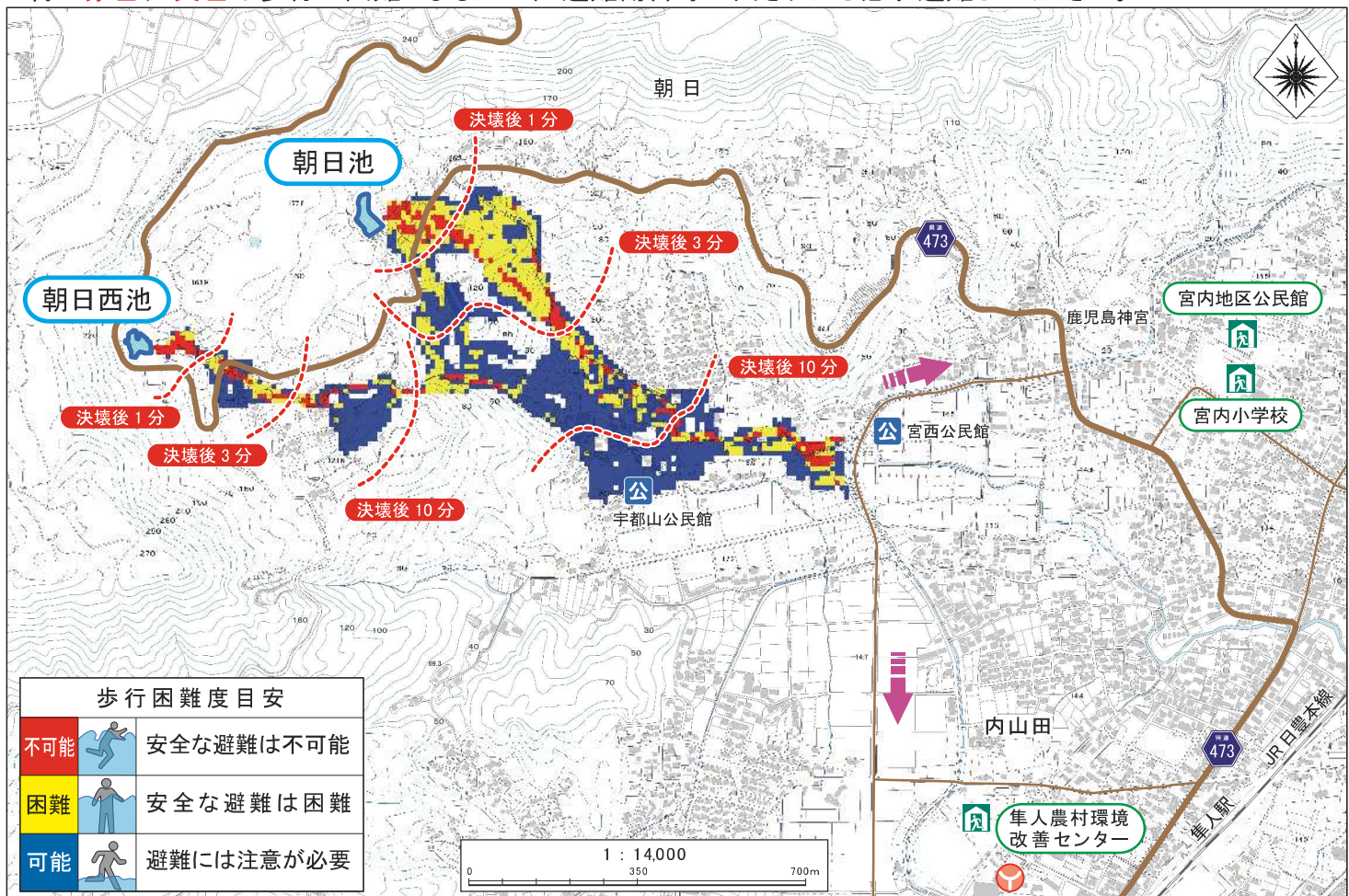
この地図は、鹿児島県水土里情報データを使用しています。

避難勧告等が出されたら速やかに避難しよう



歩行困難度を確認しよう

● 浸水の深さと流速の関係から、「歩いて避難することが困難な場所」を示しています。特に赤色、黄色は歩行が困難となるため、避難勧告等が出されたら必ず避難してください。



朝日池・朝日西池ハザードマップ

【問合せ先】 霧島市役所 耕地課 0995-45-5111

ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊するおそれのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するもので、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上を図るとともに災害時における被災の低減を目的としています。

ため池決壊について知ろう

大雨

ため池の水位が上昇し堤防を越流したり、堤防が不安定な状態になり、ため池が決壊する危険性が高まります。

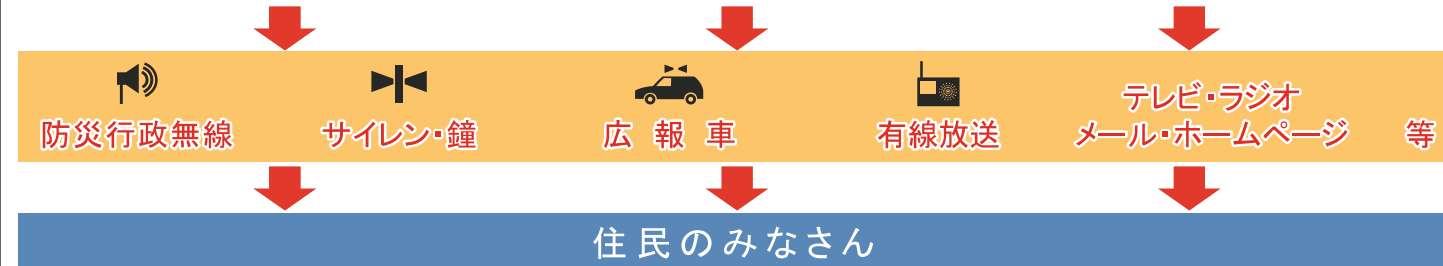
地震

ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性があります。

行政からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう

警戒レベル	みなさんがとるべき行動	避難情報等
高	5 命を守る行動 すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 〔市町村が発表〕
危険度	4 全員避難 速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) 〔市町村が発表〕
	3 高齢者等は避難 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 〔市町村が発表〕
	2 避難行動の確認 避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 等 〔気象庁が発表〕
低	1 心構えを高める 災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

※ 各種情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。



避難行動の心得を確認しよう

避難する前に

ガスの元栓・電気ブレーカーをチェック

確認!

避難は徒歩で

決められた避難所へできるだけ集団で避難
非常時持ち出し品を忘れずに

協力し合って

避難するときは、近所のお年寄りや障がい者などに声かけ協力

安全なルート①

避難するときは、地すべりやがけ崩れなど土砂災害のおそれのある箇所は避ける

安全なルート②

避難するときは、高い道路を選び、水路などに十分注意

NTT災害用伝言ダイヤル

伝言の録音 **171+1+** 被災地の方の電話番号 → 録音

伝言の再生 **171+2+** 被災地の方の電話番号 → 再生